

春のお彼岸を迎えて

今や、コロナウイルスで、日本全土に人々に不安をもたらせています。国は、不要不急の外出をひかえるようにと発表したり、消毒や手洗い、うがい、マスクの着用を促されています。ほんと世間では大変なことが起こっています。更に、今年には雪が少なく、水不足の問題や例年猛暑に悩まされることなど、私たちの暮らしの安心を脅かされています。また猛暑が続く中、日本でのオリンピック開催にも疑問符がつけられています。

このようなことが続きますと、生きて行くことに夢と希望がなくなりそうです。この世の苦しみを仏様に祈ることでよくしていくしかありません。もうそこにお彼岸が近づいてまいりました。私たちのご先祖様即ち仏様に供養して、世の安穩を祈りたいものです。

法華経の自我偈の中に、我此土安穩、天人常充滿と記されています。我この土の安穩であれば、天人が此の世を満たしてくれますよ。とお釈迦様は説いています。そしてスポーツの祭典オリンピック実現していただきたい。これこそ日本人の夢ではないでしょうか。今日まで人々が智慧を出し、オリンピックを迎える準備をなされたのであります。何か大きなこと成就なされるには不断の努力の結果だと考えます。今こそ、オリンピックができるよう仏様に祈りましょう。

やくそうゆほん 薬草諭品 (法華経巻三)

大雲が垂れ込めると地上のさまざまな植物の上に恵みの雨が降りそそぎます。草木は大といわず、小といわず、雨に潤い、しかもそれぞれの性質にしたがって成長し、花をつけ、実を結びます。さて、釈尊が此の世に出現したのも大雲が空を覆ったようなものでその説法によって衆生を教化するの雨が地上の草木を潤すようなものです。そして、衆生のそれぞれの素質や能力に応じて仏道に導いています。後につながる人材を育成して、釈尊がなくなっても、此の世が安穩の暮らせるように薬草諭品では説いています。

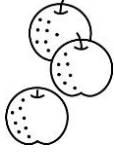
質にしたがって成長し、花をつけ、実を結びます。さて、釈尊が此の世に出現したのも大雲が空を覆ったようなものでその説法によって衆生を教化するの雨が地上の草木を潤すようなものです。そして、衆生のそれぞれの素質や能力に応じて仏道に導いています。後につながる人材を育成して、釈尊がなくなっても、此の世が安穩の暮らせるように薬草諭品では説いています。



ブツダの小ばなし

確かめるのは大事だけど

ある大金もちの家です。この主人はマンゴーが大好きです。そこで使用人にお金を持たせて、「おいしそうなマンゴーを選んできなさい。」と言いつけて、マンゴーを買いに行かせました。使用人が果樹園につくと、おいしそうなマンゴーがたくさん実っています。果樹園の主人が言いました。「うちはどれもおいしいよ。」「一つ味見してらん。」「一つだけじゃわかりません。」「全部味見してから買います。」と全部のマンゴーをなめてから買い、持って帰りました。「ご主人様、ただいま、帰りました。」「いいマンゴーを選んできたか。」「はい。」「私が全部なめて味を確かめました。」「これもおまえがなめたのか。」「ええ、なめました。」「それはまたまれに見る素晴らしい味です。」「ご主人様もぜひ召し上がって下さい。」



「そんなもの食えるか。」「全部捨てろ。」

おしえ

戒律を守ることとお布施をすることは、自分を穏やかにさせて、いやな思いになりにくくなるという

う大変なご利益があります。ところがその話を聞いても信じず、お布施をすればいいことがある？ そんなの自分でやってみて、ほんとにいいことがあったら信じるよと言う人がいます。これは今の自分の状態は、過去にしてきたことの結果だ。とわかっていないと言うことです。原因があるから結果がある。という因果の道理があつて、この道理を信じなければ、自分で自分を苦しめることになる。それによつていのちを失うことになれば、財産ともお別れです。一口食べればその果樹園のマンゴー味がわかるはずなのにそれをわからずに全部のマンゴーをなめて、すべてを捨てるはめになったのと同じ事です。

七福神の由来

七福神は、現在日本のなかで人気があります。誰もが貧乏を嫌い、豊かな暮らしを望んで七福神に祈りを捧げます。

- 覚え方は、エビ（恵比寿神）で鯛（大黒天）を釣るご老人（寿老人）はじめが抜けているのは、ひ（毘沙門天）、ふ（福祿寿）へ、（弁財天）ほ、（布袋尊）と覚えます。
- ◎大黒天 打ち出の小槌を 右手に 袋、足下に米俵、五穀豊穡。
- 真言 おん まかきやらや そわか



- ◎恵比寿天 正直を意味して大漁、商売繁盛、学業成就
- 真言 おん いんだらや そわか

- ◎弁財天 愛敬を表す。金運、財運向上、恋愛成就、
- 真言 おん そらそばていえい そわか

- ◎毘沙門天 威光を表す。病氣平癒
- 真言 おん べいしらまんだや そわか

- ◎布袋尊 大量を表す。笑って許す心、子宝、良縁成就
- 真言 おん まいたれいや そわか

- ◎福祿寿 人望を表す。幸福、立身出世

真言 おん まかしり そわか
◎寿老神 長寿を表す。延命長寿
真言 おん ばさらゆせい そわか
※玉泉寺は、布袋尊を祀っています。

供養のありかた

供養とは、物を供給して、人の成長を促し、物が足りるように助けることです。つまり大切な客人をもてなしをする慣わしです。故人の好きな食べ物、おいしいものをお供えをすることです。

仏前をきれいに飾り、読経して、ご先祖様から受け継いだ命に報恩感謝の誠をささげ、正しく生きることを誓います。

正しい行いをすれば、幸せな暮らしができるのです。とくに昔から人は甘い物が好物でした。春はぼた餅、秋はおほぎを食べられると幸せを感じます。

びんずる会の活動に参加しませんか

写経、奉仕、座禅をして、心の修養をします。皆様のご参加をお待ちします。参加してみようと思われる方は、ご一報下さい。

方 け 連 だ
希望の 堂で、さ
ご希望の 本堂で、さ
には、本堂で、さ
てまして、く
に絡い。 「玉泉寺住職
日記」のブログし
に毎日更新の
ていまく
ご覧

発行者 高島市安曇川町田中三四五九
天台真盛宗玉泉寺 木村 哲基
電話 〇九〇一三七〇八一七二〇六
FAX (〇七七) 五〇二二二七九
Eメール svka37375@eto.eonet.ne.jp
新Eメール info@gyokusenji.com
ホームページ「滋賀高島石仏の玉泉寺」と「玉泉寺住職日記」をらん下さこ。